

第1・2学年生活科学学習指導案

日 時 平成 16 年 9 月 9 日(木)5 校時
場 所 1Fワークスペース
児 童 1年男5名 女5名 計10名
2年男2名 女4名 計6名
指導者 白石美恵子

1 単元名「まちの なぞなぞ しりたいね」

2 単元の目標

地域の様々な場所、公共物について見聞きし、決まりを守って利用したり、支える人々がいることに気付いたりすると共に、進んで人と接し地域に親しみをもつことができる。

3 単元について

(1) 単元の設定について

本単元は学習指導要領の内容(3)「自分たちの生活は地域の人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみをもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。」(4)「公共物や公共施設はみんなのものであることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。」を受けて設定している。

この単元は前単元「なかよく なりたいね」から継続して地域に出かけ活動し学習を進めるものである。公共施設は藤沢地区を中心に見学をし、それ以外にはみんなに教えたい場所(大籠地区内)を中心に活動を進める。大籠地区内においては今まで気付かなかった身の周りにある興味深い場所を選び実際に目で確かめる活動をする。場所選びにあたっては、まず自分の知っている場所でみんなにも見てほしい場所を紹介し交流をし、その後自分の目で確かめたい場所を選びグループで活動させたい。活動の中で様々な人と出会い、愛着のある人や場所をつくり、そのような場所での適切な行動の仕方を体験を通して身に付けていく。ここで取り上げる地域の人々や場所とは、スーパー、町立図書館、福祉施設、交通機関(バス)やそれにかかわる人々、自分と身近な場所や人々である。

これらの活動を通して子ども達は地域の様々な場所に対するそれぞれの児童の親しみの気持ちや愛着が深まり、公共施設利用の仕方やマナーが身に付くものとする。

(2) 児童について

これまで児童は藤沢町内に出かけ、町立図書館利用体験、スーパーでの買い物体験、バス利用、老人福祉施設訪問を体験してきた。いずれも施設の方々の話をよく聞き、決まりを守って行動することができた。しかし、分からないことがあっても、進んで聞きに行くという積極性は少ない。また身近な地域から離れると不安感や表現力の不足から、十分思いを果たせずにいる児童も数名いる。バスの利用に際して初めは空席が多く自由に座っていたがお年寄りの乗客が増えるに従って児童が席を譲る光景が見られた。また、図書館見学後休日に図書館へ出かけ本を借りてくる子どももあり、公共施設が身近な場所になってきている。学習態度については、1年生は全体的に落ち着いた学習態度であるものの、やや友達や教師に頼りがちで活動に入ると自分のやるべき行動を判断できず戸惑う児童もいる。2年生は社会的な視野が広がり、表現力も豊かになっているので1年生の手本となることが多い。しかし一方では自分の思いを優先するあまり、周囲への配慮を欠いてしまうこともみられる。1,2年生とも仲が良く、どのグループもお互い助け合おうという姿勢はみられる。1年生が2年生に頼りがちであるので、2年生にリードされて当たり前という雰囲気にならないよう、活動形態を工夫し進めたい。

(3) 学習を進めるにあたって

- ア 身近な公共施設を取り上げ見たり聞いたりしてきたことを交流しあう。
- イ 公共施設の設備だけでなくそこに携わる人にふれ、かかわりを深める場を設定する。
- ウ カード、写真、ビデオなど活動の記録を蓄積し、自分たちの活動を振り返ることができるようにさせる。
- エ 子ども達一人ひとりの役割が果たせるようなグループ構成にする。
- オ 活動場所の下見を十分行い、安全面や活動の見通しを確認する。
- カ 地域・関係機関との事前の打ち合わせを密にし、協力を依頼する。

4 単元の評価規準

<p>ア 生活への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 大籠の人々や様々な場所に親しみをもってかかわり、自分の生活を広げようとしている。 公共物や公共施設を大切に利用しようとしている。 	<p>イ 活動や体験についての思考・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 大籠の人々や様々な場所と適切にかかわることを考え、それを表現することができる。 公共物や公共施設の利用の仕方について考えたり、工夫したりして安全に気を付けて正しく利用することができる。 	<p>ウ 身近な環境や自分についての気付き</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの生活は大籠の人々や様々な場所とかがわりをもっていることが分かっている。 公共物の公共施設はみんなのものであることや、それを支えている人々がいることが分かっている
---	--	--

5 指導と評価の計画

活動内容(20 時間)	学習活動における具体的評価規準(評価方法)(- はA)		
	生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考表現	身近な環境や自分についての気付き
活動へのいざない(1 時間) ・町たんけんの計画	藤沢町の公共施設に関心をもち、知っていることをたくさん話し意欲的に学習に参加している。(発言)	みんなで楽しく気持ちよく使うための利用の仕方について考えて探検の計画を立てることができる。(カード)	
みんなで つかう(5 時間) ・町たんけん ...藤沢地区	図書館、バス、スーパー等に関心をもって、積極的に利用しようとしている。(利用の様子) 図書館、バス、スーパー等で働く多くの人やそれを利用する多くの人に挨拶したり、話しかけたりして進んでかかわろうとしている。(カード)	他の乗客のことを考えて安全に正しく利用することができる。(利用の様子) 他の利用者のことを考えて図書館を正しく利用し、本を借りることができる。(カード) 他の利用者のことを考えてスーパーを正しく利用し、家の人に頼まれたものを見つけて買い物することができる。(カード)	図書館、バス、スーパーなどはみんなで使うためであるということが分かるとともにそれらの工夫に気付いている。(吹き出し)(カード) 図書館、バス、スーパーの工夫に気付くとともに、自分たちの生活に役立ち楽しく豊かになる場所であることに気付いている。(作文)(カード)
べんりちず づくり (2 時間)		図書館、バス、スーパーを利用し楽しかったこと、分かったことなどを相手を意識して分かりやすいように伝えることができる。(吹き出し)(カード)	
まちの なぞなぞ(6 時間) 本時1 / 6 ・町たんけん ...大籠地区	自分の身近に住む多くの人々に挨拶したり話しかけたりして進んで調べようとしている。(カード) 身近に住む人々や場所を大切にしようという気持ちをもちかかわろうとしている。(活動の様子)	前回のたんけんや自分の経験などをもとにして安全面や見学のルールやマナーを考えたたんけんの計画を立てることができる。(カード)(発言) 訪問先で疑問に思ったことをたくさん質問したり、見つけたことからクイズをたくさん考えたりすることができる。(ビデオ)(カード)(地図)	自分が選んだ身近な場所にかかわる人がいることやその場所を大切にしている人がいることに気付くとともにそれらの特徴に気付いている。(作文)(カード)(発言)
べんりちず づくり (4 時間)		訪問した場所で見つけたことや聞いたことなどを相手を意識して分かりやすいように伝えることができる。(地図)	
みんなで できること(2 時間)	町たんけんで学んだことをもとに、地域の人々や様々な場所と意欲的にかかわっていこうとしている(手紙)	町たんけんで学んだことをまとめ訪問した場所や人々を大切にするためにこれから自分達はどうすればよいのか考え実行できる。(発表)(手紙)(カード)	地域の人々や様々な場所などの特徴に気付くとともに、それらにかかわって生活することは大切だと気付いている。(手紙)(カード)

6 本時の学習活動

(1) 目標

安全やマナー・ルールに配慮した大籠たんけんの活動計画を立てることができる。

(2) 展開

時間 (分)	1年の活動	1年評価 (評価方法)	支 援 (Cの子への支援)	2年評価 (評価方法)	2年活動
7分	大籠小学校クイズに答えながらビデオを見る。		大籠小学校クイズのビデオ見て、大籠クイズ作りへの意欲をもたせる。		大籠小学校クイズに答えながらビデオを見る。
5分	<p>たんけんのけいかくをたてよう</p> <p>地図を見て自分がたんけんする場所を確認する。</p> <p>たんけんに行くのに不安なことや準備しておくことはないか考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうやっていくのな？ ・ 何をもっていくのかな？ ・ 誰がいるんだろう？ ・ 決まりをつくるうか。 ・ どんどころだろう？ 	思考・表現 (発表)	<p>地図を見てたんけんする場所を確認し本時の活動の見通しをもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガンボクエゴの木 ・ 秘密基地 ・ 伊勢神社 ・ 教会 ・ 殉教公園 ・ ダム ・ 牧場 ・ リンゴ園 <p>計画の内容が把握しやすいよう各学年2～3名に意見を聞き考える道筋を示す。 発表しない子どもには黒板を見て友達考えたことを確認する。</p>	思考・表現 (発表)	<p>たんけんのけいかくをたてよう</p> <p>地図を見て自分がたんけんする場所を確認する。</p> <p>たんけんに行く前に考えておくべきことをこれまでの学習をもとに考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆記用具があったほうがいい。 ・ 飲み物がほしい。 ・ 失礼のないよう決まりを考えるべき。 ・ 質問を考えておこう。 ・ クイズになりそうなことを考えておこう。
10分	一人で計画を立ててみる。	思考・表現 (カード)	自分で考えられるところをカードに書き、グループでの話し合いで意見を出せるようにさせる。	思考・表現 (カード)	一人で計画を立ててみる。
15分	<p>グループごとに集まって考えを出し、計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ めあて、持ち物、決まり(マナー)、場所の予想、聞きたいこと。 	思考・表現 (机間巡視)	<p>考えつかない子どもには机間巡視で2年生の意見を繰り返し説明し、持ち物や行く場所の予想図など書きやすい部分を勧める。</p> <p>グループ活動に入る前に話し合いの手順を簡単に説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 項目ごとに並べてみる。 ・ 同じような内容は一つにすること。 ・ できるだけみんなの意見を入れて完成させること。 <p>話し合いに入れない子どもや意見が聞き入れてもらえない子どもにはグループのリーダーに声をかけて意見を聞くよう促し、本人にカードを見て話すよう励ます。</p>	思考・表現 (机間巡視)	<p>グループごとに集まって計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ めあて、持ち物、決まり(マナー)、場所の予想、聞きたいこと。
8分	発表する。		<p>話し合いが終わったグループから、発表するために役割分担し時間があれば練習させる話し合ったことをはっきりした声で発表させる。</p>		発表する。